

360名が集結!! 2011 トータルライフアップ全県集会開催!

～ すべての労働組合が1%の賃上げを求めよう! ～

1月22日、前橋市総合福祉会館において「2011 トータルライフアップ全県集会」を開催し、産別・地域協議会役員など360名が参加しました。

はじめに、北川会長から「バブル崩壊などの厳しい時代にも生活や労働条件の改善に取り組んできた先輩たちの歴史を忘れず、自分たちも現在の荒波を乗り越えて前進しよう。

また、民主党政権になり一歩前進し、勤労者の目線に立った政策が実現できる環境が整いつつある。統一地方選挙は、連合推薦候補者全員の当選に向けしっかり取り組みたい」との挨拶がありました。

続いて、^{だんの}團野連合本部副事務局長から「労働条件の復元、格差是正が今求められている。労使が危機感を共有し、家計と企業経営のバランスでの歪を解消することがデフレ脱却の道だ。すべての労働組合が1%を目安に賃金を含めた適正な配分を求めよう」と春闘方針と今年度の取り組みにかける熱き思いが示されました。



現在の荒波を乗り越えて前進しようとの挨拶（北川会長）



連合本部
^{だんの}團野副事務局長



講師の奥井^{れいき}禮喜氏



集会の締めくくりは心合わせの団結ガンパロー

その後、(有)ライフビジョン代表取締役の奥井^{れいき}禮喜氏から「労働価値を高めるための労働組合が担う役割と必要性」について講演があり、「組合の力は偉大である。もし偉大でないのであれば、もっと組合らしい組合活動を求めよう。組合が、わが国の未来を左右する」と語られました。

最後に丸山副会長の音頭で団結ガンパローを三唱し、全体で心合わせを行いました。

【本部春闘方針】

2011春季生活闘争では、「すべての労働者の処遇改善」に向けた2年目の闘いと位置付け配分を求め、より社会性を追求した運動を展開する。

- ①労働条件の復元・格差是正に向けた取り組みを推進。
- ②非正規労働者の正規化、処遇改善に向け取り組みを推進。
- ③雇用・生活条件の課題解決に向け、政策・制度の取り組みを推進。また、労働者派遣法や定期労働契約に関する法制度の見直し等に関する取り組みを強化。
- ④総実労働時間の短縮と割増率の引き上げ、安全・衛生対策、子育て支援策などについて取り組みを強化し、ワーク・ライフ・バランスの実現をはかる。

<ミニマム運動課題>

- ①賃金カーブ維持分の確保。
- ②非正規労働者を含めた全労働者を対象とした賃金をはじめとする待遇改善。
- ③企業内最低賃金協定の締結拡大と水準の引き上げ。
- ④総実労働時間の短縮、時間外・休日労働の割増率の引き上げ等。